

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
大事業	201	土木事業			中事業	01	土木事務事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備			建設課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備			
	施策	5-2	交通基盤の充実			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
土木行政の円滑な推進、災害の発生防止、道路・港湾の適正な利用、正常な機能の維持等を総合的に進める。

【事業の概要】

- 旅費 (12名) 311 千円
- 需用費 (説明会用お茶代、混合油代) 25 千円
- 使用料及び賃借料 268 千円
 - 有料道路通行料 11 千円
 - 大型コピー機リース料 257 千円
- 負担金 3,286 千円
 - 研修参加 49 千円
 - 県道路協会 426 千円
 - 日本港湾協会 50 千円
 - 県港湾協会 224 千円
 - 県国道連絡協議会 17 千円
 - 福井港・丸岡インター連絡道路整備促進協議会 170 千円
 - 県福井バイパス道路建設促進協議会 14 千円
 - 新九頭竜橋建設促進期成同盟会 27 千円
 - 川西国道建設促進期成同盟会 59 千円
 - 日本道路協会会費 30 千円
 - 道路橋りょう開通式負担金 (布施田橋、国道8号) 2,220 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■広域道路ネットワークの連携強化 (日常的なつながりの強い福井市との連携を強める道路網の整備、福井港丸岡インター連絡道路の整備など、骨格的道路のネットワークを促進する)
----------	---

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	3,890	2,173	1,783	1,717
	人件費	3,343	3,854	3,692	△ 511
	総事業費	7,233	6,027	5,475	1,206
人員	正職員	0.50 人	0.55 人	0.55 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.50 人	0.55 人	0.55 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	7,233	6,027	5,475	1,206

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市内交通事故死者数	%	目標	0	0	0	0	0
			実績		1	4	5	4
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	日本港湾協会総会参加	人	目標					
			実績		1	1	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		港湾事業促進に対する要望会議の参加数						
指標	福井県道路協会総会参加	人	目標					
			実績		1	1	1	1
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		県内道路事業促進に対する要望会議の参加数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	国、県が実施する幹線道路整備等の事業促進の目的意識を持ち事業に取り組んだ結果、概ね目標を達成しているが、引き続き都市基盤整備のための事業促進に向け、行政運営に取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	土木事務事業	継続	福井港丸岡インター連絡道路など広域道路ネットワークの整備等について、県や近隣市町と協議し、連携強化を図りながら促進します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-2	交通基盤の充実
	施策項目	骨格的な道路ネットワークの形成				
実施事業名 (小事業)	土木事務事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> 道路や河川などの各種団体負担金等について 道路や河川などの整備促進については、各関係市町や県と連携を図り、相互の交通緩和・地域の治水対策及び環境整備をすることで、地域住民の生活の安定と発展に寄与することができる。 福井港丸岡インター連絡道路について 嶺北地域の広域交流拠点である「福井港」及び県下最大の工業団地である「テクノポート福井」と、北陸自動車道を連絡する地域高規格道路であり、これら施設を核とした産業機能の集積に寄与するとともに、嶺北北部の東西方向に脆弱な交通ネットワーク網を強化することができる。 					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
大	事業	201	土木事業	中	事業	06	県営事業負担金		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 地方財政法第27条の規定に基づき、福井県が行なう道路・河川事業等について、事業毎の負担率において市が負担し、事業進捗を図る。

【事業の概要】
 (負担率) 県単道路改良事業1/10、公共道路改良事業(防災・安全交付金)5/100、公共道路改良事業(広域連携)5/100、県単雪寒道路整備事業2/10、公共雪寒道路整備事業(防災・安全交付金)1/6、県単急傾斜地崩壊防止施設改修事業1/10、消雪設備維持管理4~90%

○県営事業負担金 35,228 千円

- 県単道路改良事業(三国丸岡停車場線外11箇所) 11,660 千円
- 公共道路改良事業(防災・安全交付金、広域連携)(三国東尋坊芦原線) 10,150 千円
- 県単雪寒道路整備事業(板倉高江線) 2,300 千円
- 公共雪寒道路整備事業(防災・安全交付金)(丸岡インター線外1箇所) 9,084 千円
- 県単急傾斜地崩壊防止施設改修事業(崎外2箇所) 1,771 千円
- 消雪設備維持管理(南横地芦原線外3箇所) 263 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	35,228	24,672	24,665	10,556
	人件費	1,471	841	806	630
	総事業費	36,699	25,513	25,471	11,186
人員	正職員	0.22 人	0.12 人	0.12 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.22 人	0.12 人	0.12 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	18,200	0	0	18,200
	一般財源	18,499	25,513	25,471	△ 7,014

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	回	目標	4	4	4	4	4
		実績		4	4	4	4
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		県事業の内容確認の協議回数					
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価	市内県道の事業内容把握により、市内道路ネットワークの整備に生かすため目標協議回数を設定し、目標を達成しています。引き続き、協議により円滑な事業運営に取り組んでいきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性

※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください

方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
		県営事業負担金	継続

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
大事業	201	土木事業			中事業	11	道の駅管理運営事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ■農産物直売所（ふれあいパーク三里浜） ■道の駅（みくに・さかい）管理運営
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり		所管 部局	建設部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり			建設課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
道路利用者の利便性の向上と安全で快適な道路交通環境の形成、並びに地域の振興に寄与することを目的として、道の駅みくに、道の駅さかいを適正に管理運営する。	
【事業の概要】	
○需用費	3,442 千円
消耗品費（保健衛生用品等）	419 千円
光熱水費（電気料・上下水道料）	3,023 千円
○役務費（電話料）	94 千円
○委託料	5,046 千円
保守点検委託料（消防設備・自動ドア）	80 千円
清掃委託料	71 千円
維持管理委託料	4,895 千円
○使用料（CATV、インターネット、NHK受信料）	199 千円
○負担金（近畿道の駅連絡会）	94 千円

3.事業のコスト (単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	8,875	8,819	8,653	56
	人件費	3,008	2,242	2,148	766
	総事業費	11,883	11,061	10,801	822
人員	正職員	0.45 人	0.32 人	0.32 人	0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.45 人	0.32 人	0.32 人	0.13 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	739	531	440	208
	一般財源	11,144	10,530	10,361	614

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	道の駅みくに利用者数	万人	目標	30	30	30	30	30
			実績		29	32	32	31
			達成率(%)	0.0	96.7	106.7	106.7	103.3
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	緩やかではあるが、道の駅利用者は増加傾向にあり、目標は達成していません。来年度以降も目標達成できるよう取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	道の駅管理運営事業	継続	道の駅みくに及びさかいの施設修繕及び適正な維持管理を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性			方向性の理由
目標年度			
中長期的な方向性		継続	
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-1	農林水産業の振興
	施策項目	生産者と消費者の交流機会の充実				
実施事業名 (小事業)	道の駅管理運営事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	・道の駅みくにの施設管理等を委託している三里浜農産、農業振興課、観光産業課など関係機関と協力しながら、農産物直売所・道の駅一体的に農林水産業の振興に努める。					

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-4	観光の振興
	施策項目	東尋坊・三国湊、丸岡城と核とする観光ルートの整備				
実施事業名 (小事業)	道の駅管理運営事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	・観光客を含む道路利用者の利便性向上に努める。					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	01	道路橋りょう総務費
大	事業	051	道路橋りょう総務事業	中	事業	01	道路橋りょう総務事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	道路法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
道路に関する事務的な管理を適正に行うことにより、地域社会の発展、住民福祉の向上に寄与する。	
【事業の概要】	
市道借地借上料等の支払い及び道路台帳の管理を行う。	
○委託料	4,898 千円
道路台帳システム・V-nas保守点検委託料	594 千円
道路台帳作成・修正業務委託料 （新規0.94km、修正2.22km）	4,304 千円
○賃借料(市道敷土地借上料)	8,536 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	13,434	12,824	14,078	610
	人件費	3,008	2,803	9,398	205
	総事業費	16,442	15,627	23,476	815
人員	正職員	0.45 人	0.40 人	1.40 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.45 人	0.40 人	1.40 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	16,442	15,627	23,476	815

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市道（延長）	Km	目標	800	799	798	797	795
			実績		799	798	797	795
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		市道の延長						
指標	道路台帳修正業務	千円	目標					
			実績		4,304	3,694	4,990	3,456
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	道路台帳を整備更新し安全な道路維持に努めていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	安全な道路環境を保持し、道路管理者として適正な管理に努めていきます。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	道路橋りょう総務事業	継続	道路管理者として、道路の管理に関する基本的事項を総合的に把握しておく必要があるため、今後も台帳整備を行います。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	継続		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路橋りょう維持費
大	事業	001	道路橋りょう維持事業	中	事業	01	道路橋りょう維持事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-1	市街地・住環境の整備		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
道路の環境を常に良好な状態に維持することにより、安全、円滑で快適な交通を確保する。

【事業の概要】
市道の舗装、側溝などの道路構造物の維持補修業務、街路樹剪定・道路路肩の除草など道路施設を適正に保持する。

○賃金(地下道管理人)	84千円
○需用費	117,431千円
施設管理消耗品費	183千円
光熱水費	2,995千円
施設修繕料(917箇所)	114,253千円
○役務費(専用回線使用料等)	31千円
○委託料	30,144千円
樹木管理委託料	13,311千円
除草委託料	788千円
計画策定業務委託料	6,329千円
踏切施設維持管理委託料	2,624千円
道路施設維持管理委託料	7,092千円
○原材料費(修繕用材料)	2,443千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■道路橋りょうの整備・維持
----------	---------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	150,133	60,870	80,376	89,263
	人件費	22,061	19,129	10,942	2,931
	総事業費	172,194	79,999	91,318	92,194
人員	正職員	3.30 人	2.73 人	1.63 人	0.57 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.10 人	0.00 人
	人員計	3.30 人	2.73 人	1.73 人	0.57 人
財源内訳	国県支出金	3,410	10,782	21,725	△ 7,372
	その他特定財源	129,764	30,777	28,388	98,987
	一般財源	39,020	38,440	41,205	579

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	街路樹に関する苦情	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		11	9	3	2
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	一般車両タイヤパンク件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		3	2	2	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	修繕件数	件	目標	180	180	180	180	180
			実績		917	163	154	206
			達成率(%)	0.0	509.4	90.6	85.6	114.4
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	市道の維持管理をきめ細かく行い、施設の長寿命化に貢献できました。今後も道路施設の修繕等に対し迅速な対応に努めていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			平成30年度に策定した個別施設計画を基に橋りょう・トンネルの修繕が必要となります。
これまでの見直しや改善等の実績	市道の適正な維持管理は、住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のため、サービス水準等の維持に努めていきます。			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	道路橋りょう維持事業	継続	橋りょうやトンネルの予防的保全を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-1	市街地・住環境の整備
	施策項目	生活道路の整備				
実施事業名 (小事業)	道路橋りょう維持事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> 道路施設等の維持管理 生活道路は、買い物や通院といった人々の日常的な移動を支える機能から、消防や救急搬送といった緊急時の移動、災害時の避難など様々な機能を有するため、適正な維持管理が重要である。 道路施設等の維持管理（コスト）が増大する。 道路施設の点検業務の義務化に伴い、維持管理費用が増大する。 					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路橋りょう維持費
大	事業	051	除雪対策事業	中	事業	01	除雪対策事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-2	安全・安心対策の充実		建設課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-1	市街地・住環境の整備		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有		道路除雪基本計画、道路除雪実施計画		

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
冬期間の積雪時における主要道路及び生活道路の交通を確保し、雪に強い道路づくりを進めるため、有効で適切な除雪作業を実施する。

【事業の概要】
道路除雪基本計画・実施計画に基づき、市道約800kmを市保有除雪機械及び民間企業からの借上げ機械により、道路除雪及び歩道除雪を行うとともに、消雪設備等の既存施設の修繕により適正管理を行う。

○職員手当(時間外手当5名)	18千円
○需用費	19,779千円
修繕料	13,434千円
光熱水費ほか	6,345千円
○役務費(自動車車検・保険料等)	2,053千円
○委託料	29,590千円
除雪業務委託料(84社、171台)	20,895千円
融雪装置点検委託料	7,831千円
遠方監視制御装置機器点検委託料	864千円
○使用料及び賃借料(機械リース46台、土地借地等)	40,868千円
○工事請負費(融雪装置更新工事、井戸点検整備工事等)	37,115千円
○備品購入費(除雪トラック購入7t級)	33,264千円
○除雪機械整備費等補助金	20,415千円
道路除排雪機械整備費補助(10台)	17,932千円
雪に強いまちづくり事業費補助(6区)	2,483千円
○公課費(車両重量税6台)	497千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	■除雪対策
--------------	-------

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	183,599	787,703	100,493	△ 604,104
	人件費	10,028	9,459	8,391	568
	総事業費	193,627	797,162	108,884	△ 603,536
人員	正職員	1.50 人	1.35 人	1.25 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.50 人	1.35 人	1.25 人	0.15 人
財源内訳	国県支出金	27,539	130,900	9,044	△ 103,361
	その他特定財源	26,873	115	80	26,758
	一般財源	139,215	666,147	99,760	△ 526,933

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市道の交通障害発生件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		0		0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標	除雪機械稼働時間	時間	目標					
			実績		35	43,454	537	2,475
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	降雪の状況により、業務量が変わるため、過去実績との単純な比較はできませんが、引き続き、コスト削減、交通障害がないように努めていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			将来的に降雪協力企業などオペレーターの減少が懸念されるため、企業への呼びかけや講習会等の情報を発信する必要がある。
これまでの見直しや改善等の実績	降雪協力企業が購入する除排雪機械の整備に要する経費に対する補助、または区が区内狭あい道路の除雪をする除雪機械の購入に要する経費に対する補助制度を創設しました。			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	除雪対策事業	継続	除雪車・オペレーターを確保しながら市道除雪を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-1	市街地・住環境の整備
	施策項目	生活道路の整備				
実施事業名 (小事業)	除雪対策事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> ●坂井市道路除排雪機械整備費補助金 降雪時における市道の安全確保及び市民生活の安定を図ることを目的として、降雪協力企業（市と道路除排雪業務委託契約を締結し、市道の除排雪業務を行う企業）が行う道路除排雪機械の整備に要する経費に対し補助金を交付する。 ※降雪協力企業が保有する機械の拡充や更新が図られることにより、除雪作業能力の向上に効果がある。 ※降雪協力企業の主力であった土木業者が減少している現在、土木業者以外の業者に補助制度を活用してもらう働きかけ、またはオペレーターの確保についても考慮していく必要がある。 ●坂井市雪に強いまちづくり事業費補助金 降雪時における坂井市内にある狭小幅員道路の確保及び市民生活の安定を図るために、区の小型除雪機械等の購入に要する経費に対し補助金を交付する。 ※区が主体となって、降雪時における市道以外の狭小幅員道路の確保を行うことにより市民生活の安定が図られる効果がある。 ※除雪業者が減少している現状の中、この補助金を効果的に活用することにより、除雪作業の効率化を図りたい。 					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路橋りょう維持費
大事業	101	道路橋りょう補助事業			中事業	06	橋りょう長寿命化事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		所管部局	建設部
	基本計画	4-2	安全・安心対策の充実			建設課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業		
根拠法令	有	道路法				
根拠例規						
関連計画・マニュアル						

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
坂井市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、予防保全的な補修対策を実施することにより、橋梁の長寿命化、道路交通の安全・安心及び防災面における道路網の確保を図る。

【事業の概要】

- 全体事業費 14,000千円 ・事業年度 H30
- 橋梁延長 宮領橋 L=16.5m、福島橋 L=15m
- 幅員 宮領橋 W=5.0m、福島橋 W=5.2m

○委託料 22,442 千円

橋梁補修設計業務委託料	5,508千円
橋梁定期点検業務委託料	7,419千円
橋梁個別施設計画策定業務委託料	9,515千円

○工事請負費 15,725 千円

宮領橋補修工事（橋面防水工74.3㎡、断面修復工1式）	11,178千円
福島橋補修工事（断面修復工1式、伸縮装置取替工L=4.5m）	4,547千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	38,167	75,896	40,500	△ 37,729
	人件費	3,877	3,363	3,222	514
	総事業費	42,044	79,259	43,722	△ 37,215
人員	正職員	0.58 人	0.48 人	0.48 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.58 人	0.48 人	0.48 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	20,790	41,743	22,275	△ 20,953
	その他特定財源	7,200	32,400	17,300	△ 25,200
	一般財源	14,054	5,116	4,147	8,938

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	事業費	百万円	目標	90	38	76	41	34
			実績		38	76	41	35
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	102.9
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	平成30年度補修予定箇所は、予定通り完了しました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	法改正に伴う道路施設の点検義務化により、点検費用とそれに伴う修繕等の費用の増加が懸念されます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	橋りょう長寿命化事業	継続	点検結果を基に優先順位をつけながら橋りょうの修繕を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大	事業	001	道路改良事業	中	事業	01	道路改良事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
市道の拡幅、舗装、道路側溝等の工事を実施することにより、安全、円滑で快適な交通環境を確保する。	
【事業の概要】	
○需用費(消耗品費、資料購入代)	676千円
○委託料	3,144千円
測量設計業務委託料	85千円
物件補償調査委託料	1,058千円
登記業務委託料	2,001千円
○工事請負費(81箇所)	192,952千円
○公有財産購入費(A=883.01㎡)	8,745千円
下新庄7号線土地購入 A=281.21㎡	
土地寄付採納面積 A=601.80㎡	
○備品購入費	30千円
○補償、補填及び賠償金	15,105千円
下新庄7号線道路改良工事他物件移転補償料	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	220,652	276,345	259,713	△ 55,693
	人件費	9,359	10,861	10,711	△ 1,502
	総事業費	230,011	287,206	270,424	△ 57,195
人員	正職員	1.40 人	1.55 人	1.60 人	△ 0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.40 人	1.55 人	1.60 人	△ 0.15 人
財源内訳	国県支出金	0	1,170	2,307	△ 1,170
	その他特定財源	194,600	0	0	194,600
	一般財源	35,411	286,036	268,117	△ 250,625

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市道での交通事故発生件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		63	49	79	72
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	用地買収事務	件数	目標					
			実績		2	9	3	2
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	市道の改良及び未改良区間を整備することにより、安全、円滑で快適な交通環境整備に取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 道路施設等の老朽化により、地元要望件数が増加傾向にあります。予算縮減のなか厳しい対応に追われている状況です。
これまでの見直しや改善等の実績	未改良区間の道路側溝等の工事を実施することは、安全で円滑な交通環境を確保するために必要だと考えています。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	道路改良事業	継続	緊急度、費用対効果などを考慮しながら市道整備を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	市道整備の要望件数は多く、限られた予算の中から緊急度、費用対効果などを考慮して実施していくことが重要であります。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	051	区環境整備補助事業			中事業	01	区環境整備補助事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、建設課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 行政区が管理する道路及び排水路の整備を進めることにより、各行政区の生活環境の向上を図る。

【事業の概要】
 行政区が管理する道路・排水路等の整備工事について、同一会計年度に1回(補助金限度額200万円)を補助する。(補助率1/2)

○補助金 5,367千円

曾々木区	(区道側溝改良)
米ヶ脇区	(区道舗装)
安島区	(安全施設設置)
宮領区	(区道側溝改良)
東二ツ屋区	(区道側溝改良)
梶区	(区道側溝改良)
観音区	(区道側溝改良)
石塚区	(区道側溝改良)

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	5,367	8,845	10,607	△ 3,478
	人件費	1,136	3,994	4,162	△ 2,858
	総事業費	6,503	12,839	14,769	△ 6,336
人員	正職員	0.17 人	0.57 人	0.62 人	△ 0.40 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.17 人	0.57 人	0.62 人	△ 0.40 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	6,503	12,839	14,769	△ 6,336

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	交付申請待機件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		予算不足による待機件数						
指標	補助金支出件数	件	目標					
			実績		8	16	18	23
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		補助件数(行政区数)						
指標	補助金支出実績	千円	目標	9,400	9,400	9,400	9,600	10,000
			実績		5,367	8,845	10,607	9,239
		達成率(%)	0.0	57.1	94.1	110.5	92.4	
指標の説明		補助金額合計						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価		行政区の要望に応える結果となっています。行政区が自らの計画及び資金にて行う事業は、地域への誇りと満足度に繋がることから、引き続き目標達成できるよう取り組んでいきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性

※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください

方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
		区環境整備補助事業	継続

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大	事業	101	道路改良補助事業	中	事業	01	未政・随応寺線道路改良事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
丸岡町市街から春江町市街を結ぶ幹線道路である未政・随応寺線は、大型商業施設が隣接したことなどにより交通量が増加していることから、道路拡幅と歩道設置を行うことにより、渋滞解消と通学する児童・生徒の安全確保を図る。

【事業の概要】

- 全体事業費 2,050,000千円 ・事業年度 H11~R2
- 全体延長 L=2,150m ・W=14m（車道7.0m、歩道3.5m×2）
- 委託料（測量設計業務委託料・物件補償調査委託料） 4,806 千円
- 工事請負費（道路改良工事費） 29,243 千円
工事施工延長 L=355m
- 公有財産購入費（A=85.4㎡） 2,906 千円
- 補償費（建物工作物等移転補償費） 18,944 千円
（前年度繰越分）
- 工事請負費（道路改良工事費） 88,545 千円
- 公有財産購入費（土地購入費） 2,662 千円
- 補償、補填及び賠償金（建物工作物等移転補償費） 4,214 千円
（翌年度繰越）
- 工事請負費（道路改良工事費） 11,781 千円
- 公有財産購入費（土地購入費） 8,228 千円
- 補償、補填及び賠償金（建物工作物等移転補償費・残地補償費） 44,758 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	151,320	95,252	71,396	56,068
	人件費	5,214	3,223	2,752	1,991
	総事業費	156,534	98,475	74,148	58,059
人員	正職員	0.78 人	0.46 人	0.41 人	0.32 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.78 人	0.46 人	0.41 人	0.32 人
財源内訳	国県支出金	85,012	42,625	38,755	42,387
	その他特定財源	62,900	44,900	31,000	18,000
	一般財源	8,622	10,950	4,393	△ 2,328

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	事業進捗	%	目標	77	76	67	58	54
			実績		76	62	58	54
			達成率(%)	0.0	100.0	92.5	100.0	100.0
指標の説明								
指標	事業費	百万円	目標	10	201	191	80	64
			実績		151	95	79	63
			達成率(%)	0.0	75.1	49.7	98.8	98.4
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			地元、地権者のほか、新幹線関連工事に伴う関係者などと協議しながら事業計画年度完了を目指しています。
これまでの見直しや改善等の実績				

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	末政・随応寺線道路改良事業	完了	令和2年度完成を目指し、事業を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	完了	方向性の理由	令和2年度完成を目指し、事業を実施します。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大	事業	101	道路改良補助事業	中	事業	05	宮領北部線道路改良事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管 部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成		建設課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	12,890	0	8,802	12,890
	人件費	6,217	1,752	2,685	4,465
	総事業費	19,107	1,752	11,487	17,355
人 員	正職員	0.93 人	0.25 人	0.40 人	0.68 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.93 人	0.25 人	0.40 人	0.68 人
財 源 内 訳	国県支出金	4,320		4,841	4,320
	その他特定財源	5,800		3,700	5,800
	一般財源	8,987	1,752	2,946	7,235

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
坂井町市街から国道8号や北陸自動車道丸岡IC並びにJR丸岡駅へのアクセスを容易にし、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。	
【事業の概要】	
<ul style="list-style-type: none"> 全体事業費 500,000千円 全体延長 L=650m ・W=14m（車道7.0m、歩道3.5m×2） 	<ul style="list-style-type: none"> 事業年度 H28～R2
○委託料	11,254 千円
土地建物鑑定評価業務委託料	573 千円
測量設計業務委託料、用地測量業務等	10,681 千円
○公有財産購入費（A=171.28㎡）	1,636 千円
（翌年度繰越）	
○工事請負費（道路改良工事費）	128,587 千円
○公有財産購入費（土地購入費）	36,758 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	事業費	百万円	目標	111	12	0	8	
			実績		12	0	8	
		達成率(%)	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価		国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性

※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください

方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
		宮領北部線道路改良事業	完了

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	完了	方向性の理由	令和2年度完成を目指し、事業を実施します。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	101	道路改良補助事業			中事業	10	上安田3号線道路改良事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
丸岡南中学校の通学路、及びよつば保育園の送迎道路である上安田3号線の自転車歩行者道整備を行うことにより、生徒及び園児の安全確保を図る。	
【事業の概要】	
<ul style="list-style-type: none"> 全体事業費 400,000千円 全体延長 L=974m・W=11m (車道7.5m、歩道3.5m) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業年度 H26~R2
○委託料	16,718 千円
土地建物鑑定評価委託料	173 千円
測量設計業務委託料	16,545 千円
○工事請負費 (道路改良工事費)	41,600 千円
工事施工延長 L=291m	
○公有財産購入費 (A=2,806.71㎡)	54,709 千円
○補償、補填及び賠償金 (建物工作物等移転補償費)	2,439 千円
(前年度繰越分)	
○工事請負費 (道路改良工事費)	24,190 千円
○公有財産購入費 (土地購入費)	1,810 千円
(翌年度繰越)	
○工事請負費 (道路改良工事費)	64,293 千円
○公有財産購入費 (土地購入費)	5,115 千円
○補償、補填及び賠償金 (建物工作物等移転補償費)	1,047 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	141,466	18,000	10,417	123,466
	人件費	4,212	3,574	2,417	638
	総事業費	145,678	21,574	12,834	124,104
人員	正職員	0.63 人	0.51 人	0.36 人	0.12 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.63 人	0.51 人	0.36 人	0.12 人
財源内訳	国県支出金	76,814	9,650	5,168	67,164
	その他特定財源	61,200	7,500	4,000	53,700
	一般財源	7,664	4,424	3,666	3,240

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	事業費	百万円	目標	36	117	44	11	7
			実績		141	18	10	6
			達成率(%)	0.0	120.5	40.9	90.9	85.7
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	地元、地権者など関係者と協議しながら事業計画年度完了を目指しています。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	上安田3号線道路改良事業	完了	令和2年度完成を目指し、事業を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	完了	方向性の理由	令和2年度完成を目指し、事業を実施します。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	101	道路改良補助事業			中事業	11	沖布目森田線道路改良事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	80,648	0	11,772	80,648
	人件費	4,880	1,752	2,148	3,128
	総事業費	85,528	1,752	13,920	83,776
人員	正職員	0.73 人	0.25 人	0.32 人	0.48 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.73 人	0.25 人	0.32 人	0.48 人
財源内訳	国県支出金	23,633		6,475	23,633
	その他特定財源	54,100		5,000	54,100
	一般財源	7,795	1,752	2,445	6,043

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 県道板倉高江線から森田北東部地区までの区間を整備することにより、福井市へのアクセスを円滑化し、春江東小学校及び春江中学校への通学路として自転車歩行者道の整備を図る。

【事業の概要】

- 全体事業費 800,000千円 ・事業年度 H27~R6
- 全体延長 L=800m ・W=14m (車道7.0m、歩道3.5m×2)

○委託料（測量設計業務委託料等）	13,878 千円
○公有財産購入費（A=1,017.26㎡）	18,507 千円
○補償、補填及び賠償金（建物工作物等移転補償費）	48,263 千円
 (翌年度繰越)	
○委託料（地質調査業務委託料）	6,246 千円
○公有財産購入費（土地購入費）	29,199 千円
○補償、補填及び賠償金（建物工作物等移転補償費）	29,615 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	事業費	百万円	目標	35	80	0	11	
			実績		80	0	11	
		達成率(%)	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	地元、地権者など関係者と協議しながら事業計画年度完了を目指しています。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	沖布目森田線道路改良事業	完了	令和6年度完成を目指し、事業を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	令和6年度完成を目指し、事業を実施します。
目標年度			
中長期的な方向性	完了		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	151	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業			中事業	11	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管 部局	建設部
	基本計画	4-1	災害に強いまちづくりの推進		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	26,298	27,032	26,568	△ 734
	人件費	2,473	3,013	2,887	△ 540
	総事業費	28,771	30,045	29,455	△ 1,274
人員	正職員	0.37 人	0.43 人	0.42 人	△ 0.06 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.37 人	0.43 人	0.42 人	△ 0.06 人
財源内訳	国県支出金	25,919	25,919	25,919	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	2,852	4,126	3,536	△ 1,274

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
三国町の人口集中地区の避難路である市道三国60号線の改良を行い、災害時における避難路の安全確保を図る。	
【事業の概要】	
<ul style="list-style-type: none"> 全体事業費 159,000千円 ・事業年度 H26~H30 全体延長 L=960m ・W=12m（車道7.0m、歩道2.5m×2） 	
○工事請負費（道路改良工事費）	26,298 千円
工事施工延長 L=120m	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	防災道路の整備箇所	箇所	目標	0	1	1	1
			実績		1	1	1	1
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標	独自指標	事業費	百万円	目標	0	31	29	27
			実績		27	28	27	40
			達成率(%)	0.0	87.1	96.6	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	市道三国60号線の道路改良については、予定通り完了しました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	市道60号線の道路改良が完了したため、今後の事業計画を策定していきます。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	石油貯蔵施設立地対策等交付金	継続	事業計画に基づいて道路整備を図り、石油貯蔵施設の設置を円滑に行います。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	本事業は石油貯蔵施設が立地する自治体が公共施設の整備に要する費用に充当されることから、道路及び消防施設等の修繕を計画的に実施していきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設費
大	事業	001	交通安全施設整備事業		中	事業	01	交通安全施設整備事業	
小	事業								他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管 部局	建設部
	基本計画	4-2	安全・安心対策の充実		建設課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	有	道路法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	55,659	52,654	50,907	3,005
	人件費	3,476	5,956	5,370	△ 2,480
	総事業費	59,135	58,610	56,277	525
人 員	正職員	0.52 人	0.85 人	0.80 人	△ 0.33 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.52 人	0.85 人	0.80 人	△ 0.33 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	10,447	15,367	△ 10,447
	その他特定財源	6,300	8,100	0	△ 1,800
	一般財源	52,835	40,063	40,910	12,772

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、あわせて交通の円滑化を図る。		
【事業の概要】 交通安全に資する工事（カーブミラー、ガードパイプ等）の実施と道路照明灯・防犯灯の維持管理を行う。		
○需用費		32,583 千円
電気料	22,589 千円	
修繕料	9,994 千円	
○役務費(火災保険料)		78 千円
○工事請負費		22,998 千円
・施設修繕及び改良箇所250箇所		
内訳	道路照明・防犯灯	129箇所
	道路反射鏡	46箇所
	防護柵	41箇所
	視線誘導標	9箇所
	その他安全施設	25箇所

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	市内交通事故死亡数	人	目標	0	0	0	0	0
			実績		1	1	2	3
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指 標	指標の説明		市内交通事故における死亡人数					
指 標	交通安全施設の修繕件数	件	目標	150	150	150	145	120
			実績		129	146	141	116
			達成率(%)	0.0	86.0	97.3	97.2	96.7
指 標	指標の説明		交通安全施設の修繕件数					
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指 標	指標の説明							
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指 標	指標の説明							
指 標	指標に基づく評価		道路における交通環境の改善に努めていきます。					

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 道路施設の点検義務化により、点検費用とそれに伴う修繕等の費用の増加が懸念されます。
これまでの見直しや改善等の実績	道路照明・防犯灯やカーブミラー等の安全施設の維持管理は、交通安全につながる重要な事業であり、道路パトロール実施での早期発見、修繕により、安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	交通安全施設整備事業	継続	交通安全施設の維持管理を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	03	河川費	目	01	河川総務費
大事業	051	河川事業			中事業	01	河川事務事業		
小事業									他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-1	災害に強いまちづくりの推進		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
河川の適正な利用及び正常な機能の維持等を総合的に進めていくことで、災害の発生防止、河川環境の維持向上を図る。	
【事業の概要】	
磯部川、片川のポンプ場の管理、河川堤防の草刈、河川浚渫等を行うことにより、安心・安全で快適な河川環境づくりを推進する。	
○賃金 (臨時職員、水門管理人)	1,751 千円
○需用費	314 千円
消耗品費	65 千円
光熱水費 (電気料)	249 千円
○委託料	1,419 千円
水門管理委託料	90 千円
河川維持管理委託料	1,329 千円
○工事請負費 (河川浚渫工事費・河川護岸補修工事費他)	3,316 千円
○原材料費	23 千円
○負担金	1,028 千円
○補助金 地域をつなぐ河川環境づくり推進事業補助金	2,467 千円

3.事業のコスト (単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	10,318	16,478	15,791	△ 6,160
	人件費	3,142	4,765	4,565	△ 1,623
	総事業費	13,460	21,243	20,356	△ 7,783
人員	正職員	0.47 人	0.68 人	0.68 人	△ 0.21 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.47 人	0.68 人	0.68 人	△ 0.21 人
財源内訳	国県支出金	3,625	4,541	5,952	△ 916
	その他特定財源	2,010	2,112	1,346	△ 102
	一般財源	7,825	14,590	13,058	△ 6,765

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	河川に関する苦情件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	河川管理委託料	千円	目標	2,811	2,811	2,811	1,065	816
			実績		1,419	1,934	1,090	663
			達成率(%)	0.0	50.5	68.8	102.3	81.3
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	河川管理施設の適正な維持管理に努めていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	河川事務事業	継続	河川管理施設の適正な維持管理を実施します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					